

コード	205030502
記入日	H25.11.8

新規事業評価表【事前評価】

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江 英生
担当者	宇戸 佐一郎

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	消防詰所格納庫建設事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 30 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1
基本事業コード	20503	基本事業名称	消防団組織と消防施設の充実	目コード	3
事務事業コード	2050305	事務事業名称	石油立地交付金事業費（消防施設）	細目コード	1041
関連計画	石油貯蔵施設立地対策等交付金事業		法令・条例規則等		

計画 (PLAN)

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 消防詰所格納庫 (対象2)	(対象指標1) 2棟 (対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・老朽化している消防詰所格納庫を改築し、消防施設の充実を図る。 ・平成25・26年度実施の奈良尾地区第5分団消防詰所格納庫は、昭和49年に建設され、築39年が経過し、老朽化により屋根及び外壁等の傷みが著しい。また、災害時における消防団員の待機場所もないため建て替えが必要である。 →平成26・29年度 消防詰所格納庫建設実施設計 1.0式 →平成26・30年度 消防詰所格納庫建設 (H26：奈良尾地区第5分団、鉄筋コンクリート造平屋建 55㎡)	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 消防詰所格納庫建設実施設計	1.0式		平成29年度
	② 消防詰所格納庫建設	2棟	55㎡/1棟	平成30年度
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・老朽化した消防詰所格納庫を建設することにより、また災害時における消防団組織と消防施設の充実及び安全を実現できる体制づくりを目的としている。	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 消防施設の充実と体制づくり	-	-	平成30年度
	②			

実施 (DO)

	単位	全体計画		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度以降
		H 26 ~ H 30								
活動指標	① 式	1.0			1.0			1.0		
	② 棟	2			1				1	
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	28,220			13,760			1,760	12,700	
直接事業費 A	千円	26,120			13,060			1,060	12,000	
人件費 B	千円	2,100			700			700	700	
内 訳	従事職員数	人	0.3			0.1		0.1	0.1	
	人件費単価	千円	7,000		7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円	22,800			11,400			11,400	
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	5,420			2,360			1,760	1,300	

評価 (CHECK)

評価項目		内 容
1次評価	・事業の緊急性・必要性はありますか。	老朽化のため台風時において損壊の恐れがあり、住民への危険性がある。また、消防車両及び資機材の管理や災害発生時の消防団員の待機場所としての機能を果たすために必要である。
	・事業の対象・目的は適切ですか。	消防車両及び資機材の管理や災害発生時の消防団員の待機場所としての機能を果たすなど消防施設の充実を図るものであり適切である。
	・町が税金を投入して行う必要がありますか。	各種災害発生時における、住民の生命・財産を守ることは町の責務である。
	・事業を行わない場合の影響はありますか。	暴風及び強風時における建物の損壊により、住民が危険である。また、災害時等に消防団組織として機能を果たすなど安全を実現できる体制づくりができない。
	・事業費を削減できませんか。(費用対効果)	消防車両及び資機材の管理、地元消防団員数の待機場所として判断すると、これ以上の事業費の削減はできない。
	・受益者負担は適正ですか。	消防詰所格納庫建設は、町で負担すべきであり、受益者負担は発生しない。
	・類似事業との整理統合はできませんか。	類似事業はない。

2次評価	本事業は、石油貯蔵施設設立地対策等交付金事業を活用して実施するものであり、消防車両や資機材の適正な管理など、消防施設の充実を図るものであり、安全を実現できる体制づくりのため必要と判断する。
-------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

事業の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次	●	●														<table border="1"> <thead> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1次	2次	3次															
	1次	2次	3次																																			
	●	●																																				
1次	2次	3次																																				
	計画どおりに事業を実施する	次年度以降に計画どおり実施する																																				
	事業内容を見直して事業を実施する	次年度以降に計画を見直して実施する																																				
	実施期間を見直して事業を実施する	次年度以降に類似事業と整理統合して実施する																																				
	事業費を減額して事業を実施する	当分の間は実施しない																																				
	類似事業と整理統合して実施する																																					

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。